

平成25年10月17日

尾張旭市長 水野義則様

尾張旭市総合計画審議会
会長 伊藤雅一

尾張旭市第五次総合計画について（答申）

当審議会は、平成25年7月3日に尾張旭市第五次総合計画(案)について諮問を受け、全体会及び専門部会を開催し、慎重に審議を行ってまいりました。

諮問された計画案は、第四次総合計画を継承する目標管理型の計画として、これまで進めてきたまちづくりの流れを踏まえたうえで、新たな将来都市像として、「みんなで支えあう 緑と元気あふれる 住みよいまち 尾張旭」を掲げ、その実現をめざすとともに、計画人口についても、人口減少が予測される中、人口の増加を掲げた積極的な姿勢がうかがえるものであり、まちづくりの指針として支持できるものであります。

また、計画案の策定にあたり、庁内で深く議論された内容はもちろんのこと、市民アンケート、団体意向調査、まちづくり懇談会、市長への意見箱などにより、広く意見を取り入れたことは十分評価できるものであります。

しかしながら、全国的な人口減少が進む中、人口増加という難度の高い目標を掲げるのであれば、それを実現するための方策を総合計画に掲載する必要があると考えます。この点につきましては、本答申を踏まえ、特に前向きな検討をお願いいたします。また、当審議会で出されたその他の意見につきましても、可能な限りその趣旨を尊重すべきものがありますので、適切な対応をお願いします。

計画の実施にあたっては、将来都市像の実現に向けて、「健康都市」などの尾張旭市独自の施策の推進に努めるとともに、新たな行政課題には分野横断的な取組みを進めることなどによって、人口減少時代においても、魅力的で活気あふれるまちづくりの総合的な推進に取り組んでいただきたいと思います。

また、市内外への積極的な情報発信により開かれた市政をめざすとともに、少子高齢化が進む中で、今後増加していく高齢者をはじめとする幅広い年代の市民、事業者などと連携し、それぞれの特性を生かしながら、まちづくりを「協働」で進めていただきたいと思います。

添付資料

- 1 審議会委員の意見
- 2 会議録（全体会及び部会）